

2024年12月期第1四半期

決算説明資料



2024年12月期第1四半期業績について……………	2
2024年12月期 通期業績予想について……………	9
株主還元……………	11
今後の事業展開の基本的な考え方……………	13
APPENDIX……………	15

2024年12月期第1四半期 業績について

売上高2,442百万円（前年同期比38.8%増）、営業利益186百万円（前年同期比54.4%増）

解体事業

- ◆ 風力発電所解体工事等の大型案件の進捗に応じた売上計上により増収・増益
- ◆ 引き続き大型案件の受注残あり

環境事業

- ◆ 処理受託数が減少。再生資源販売での非鉄の取扱い増により増収
- ◆ 前期の高付加価値案件の反動で減益

金属事業

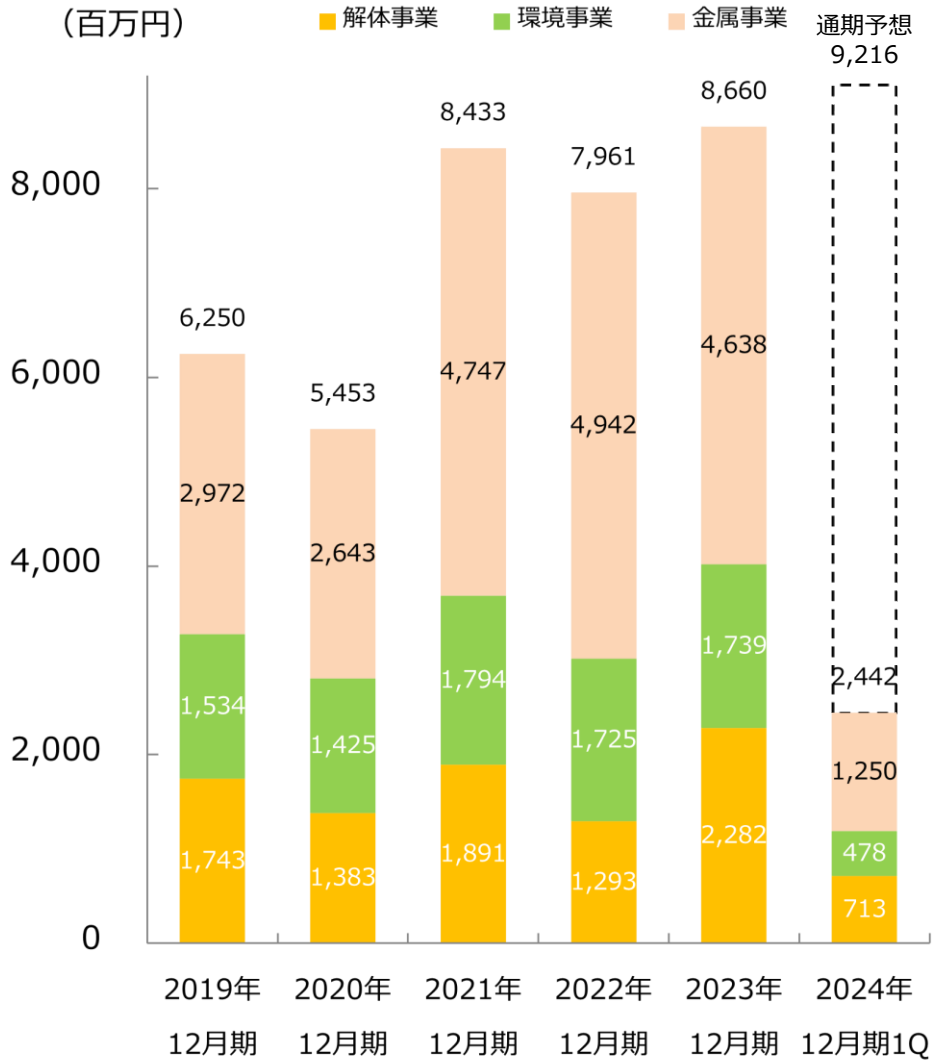
- ◆ 自社工場でのスクラップの取扱いは増加、また各地の大型解体工事から発生するスクラップの直送取引も伸長
- ◆ スクラップ相場が落ち着いた展開となり堅調に推移

- ◆ 鉄スクラップ相場は前年同期の上昇基調に対し比較的安定的に推移
- ◆ 解体事業が売上・利益面の両面でけん引

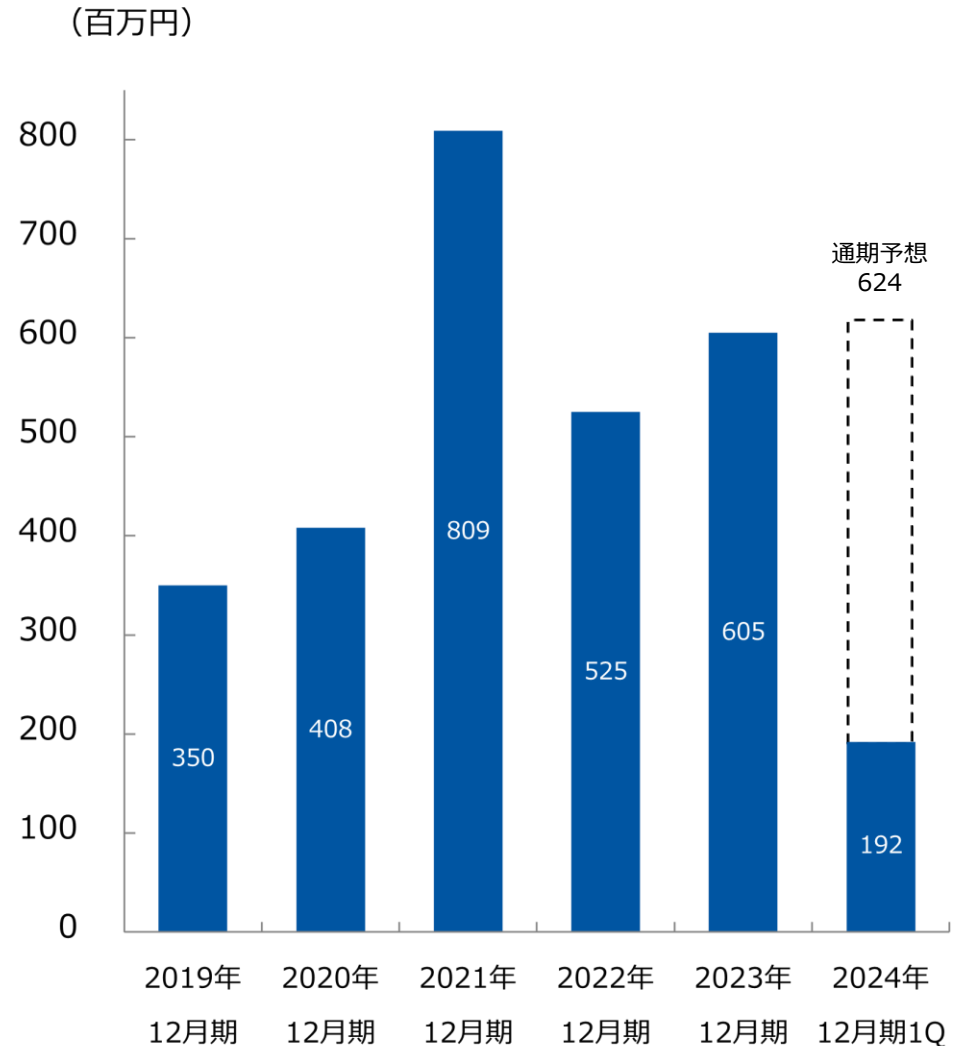
単位：百万円

	2023年 12月期1Q	売上比	2024年 12月期1Q	売上比	増減額	増減比
売上高	1,760		2,442		682	38.8%
営業利益	120	6.8%	186	7.6%	65	54.4%
経常利益	122	6.9%	192	7.9%	69	57.0%
当期純利益	79	4.5%	126	5.2%	46	57.9%

売上高（連結）



経常利益（連結）



連結セグメント別業績（売上高）

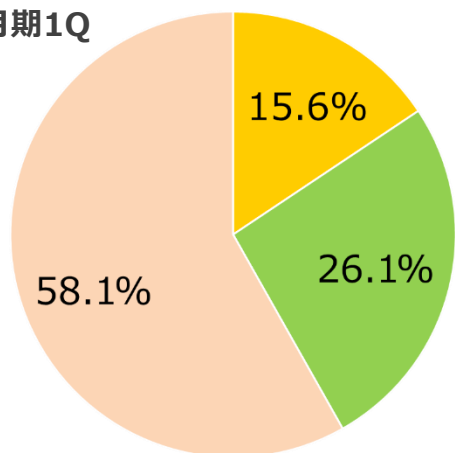


- ◆ 解体事業は軟調であった前年同期に比べ、大型案件の解体が進捗し伸長
- ◆ 環境事業は処理受託は軟調、再生資源販売は非鉄金属の取扱い増と価格上昇で前年同期並みとなる
- ◆ 金属事業のスクラップ取扱量については自社工場での加工分が増加し、大型解体由来の直送販売分も伸長

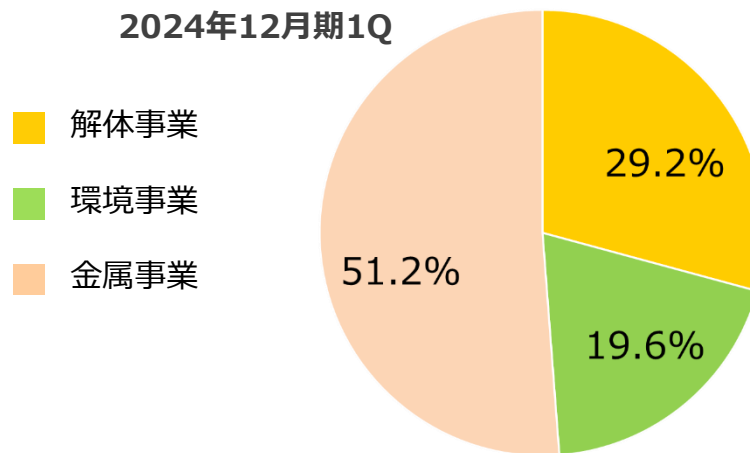
単位：百万円

セグメント	2023年 12月期1Q	構成比	2024年 12月期1Q	構成比	増減額	増減比
解体事業	275	15.6%	713	29.2%	438	159.2%
環境事業	460	26.1%	478	19.6%	18	3.9%
金属事業	1,023	58.1%	1,250	51.2%	226	22.1%
合計	1,760	100.0%	2,442	100.0%	682	38.8%

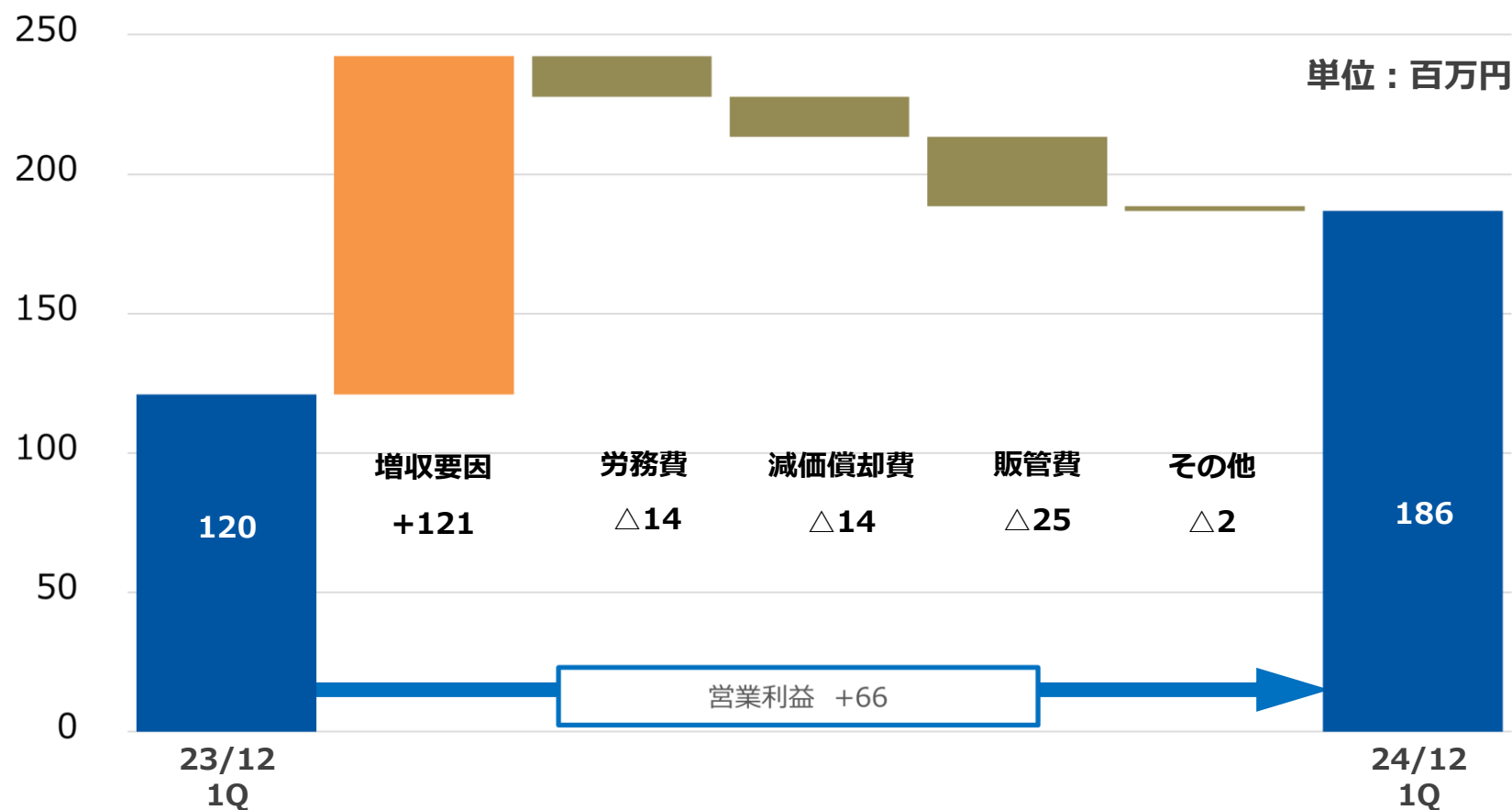
2023年12月期1Q



2024年12月期1Q



- ◆ 解体事業にて大型工事の進捗により増収
- ◆ 給与水準の改訂により労務費と販管費が増加
- ◆ 解体工事用超大型重機の減価償却費負担が増加するが工期短縮に寄与



連結貸借対照表



風力発電所等の大型案件が収束に向かい、債権債務が減少。重機等の設備投資や配当の支払いを行うも、利益の計上により現金及び預金の残高は維持

単位：百万円

	2023年 12月期末	構成比	2024年 12月期1Q	構成比	増減額	増減比
流動資産	3,111	54.2%	3,091	53.4%	△ 20	△ 0.6%
現金及び預金	1,734	30.2%	1,725	29.8%	△ 9	△ 0.5%
受取手形、売掛金及び 契約資産(含完成工事未収入金)	1,169	20.4%	1,134	19.6%	△ 35	△ 3.0%
固定資産	2,629	45.8%	2,701	46.6%	72	2.7%
有形固定資産	2,143	37.3%	2,184	37.7%	40	1.9%
無形固定資産	38	0.7%	43	0.7%	5	13.2%
投資その他の資産	448	7.8%	473	8.2%	25	5.6%
流動負債	1,319	23.0%	1,309	22.6%	△ 10	△ 0.8%
買掛金	470	8.2%	452	7.8%	△ 18	△ 3.8%
工事未払金	204	3.6%	136	2.3%	△ 68	△ 33.3%
固定負債	395	6.9%	400	6.9%	5	1.3%
純資産	4,026	70.1%	4,083	70.5%	56	1.4%
株主資本	4,007	69.8%	4,043	69.8%	35	0.9%
総資産	5,741	100.0%	5,792	100.0%	51	0.9%

2024年12月期 通期業績予想について

連結損益の予想

単位：百万円

	2023年12月期	2024年12月期	増減額	増減比
売上高	8,660	9,216	556	6.4%
営業利益	584	613	29	5.0%
経常利益	605	624	19	3.1%
当期純利益	396	400	4	1.0%

今後の見通しについて

- ◆ 2024年度は、物価上昇による混乱が一服し、企業による設備更新の需要は徐々に回復に向かうと想定
- ◆ 中長期的にはデジタル化、EV化やこれらに伴う半導体等の産業の伸びを予想。地政学リスクを考慮した生産活動の国内への回帰を期待
- ◆ 鉄スクラップ等の相場については、脱炭素を背景とした世界的な電炉への傾斜が予想されることから中長期的には上昇を予想するが、2024年度は大幅な変動はないものと想定。

株主還元

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 (予想)
1株あたり配当金	22.5円	27.5円 (普通配当22.5円) (記念配当 5.0円)	25.0円

(利益配分に関する基本方針)

株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勘案して配当を実施

今後の事業展開の基本的な考え方

イボキンの強みである、解体・環境・金属の3つの事業によるワンストップサービスを推進させるため、地域的な制限のない解体事業を成長エンジンとしつつ、環境・金属事業の事業地域を拡大するため、バランスよく資源を配分する方針

成長のエンジン 解体事業

【メインテーマ】

大型案件への対応能力・信頼性の獲得

- ◆ 大型解体案件にかかる技術の開発と蓄積
 - ✓ 風力発電所解体事業の推進
 - ✓ 超大型解体用重機の追加導入
 - ✓ 提案力・ドキュメント能力向上
- ◆ 営業拠点の増設

安定した経営基盤 環境事業・金属事業

【メインテーマ】

事業エリアの拡大と営業企画部門の設置

- ◆ 事業領域の拡大（検討のスタート）
 - ✓ 営業拠点の増設
 - ✓ 新ヤードの確保
 - ✓ M&Aの積極推進
- ◆ 地元関西圏の解体案件の受注に注力する営業体制の強化

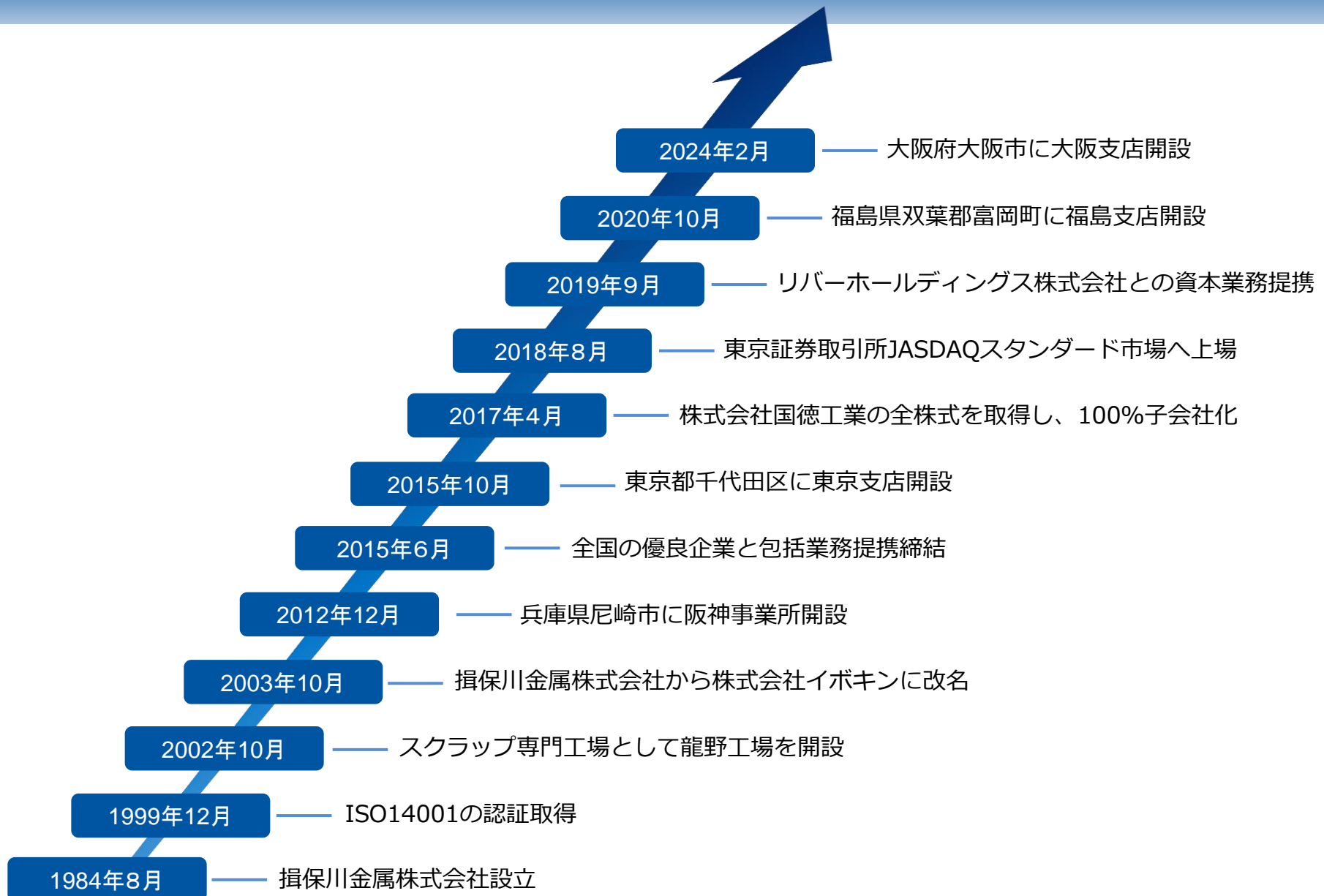
- ◆ 事業拡大を支える人材の確保と育成
- ◆ 先端技術への投資を活発化させ、リサイクル業の変革をリード
- ◆ 環境負荷の見える化及び低減を行い、取引先企業の情報ニーズへ対応



労働集約産業から
知識集約産業へ転換

APPENDIX

会社名	株式会社イボキン
代表取締役	高橋 克実
設立	1984年 8月
資本金	130,598千円（2023年12月31日時点）
従業員数	160名（連結：2024年3月31日時点）
所在地	本 社 : 兵庫県たつの市揖保川町正條379 工場・支店 : 本部ビル、本社工場、龍野工場、阪神事業所、東京支店、大阪支店 福島支店、PMR工場、最終処分場
事業内容	解体事業、環境事業及び金属事業による総合リサイクル事業
グループ企業	株式会社国徳工業



国内事業所

事業所所在地（国内事業所：5 営業所：5）

- 本部ビル及び本社工場
- 事業所及び営業所
- 子会社



本部ビル



最終処分場



PMR工場



本社工場



阪神事業所



福島支店



東京支店



大阪支店



龍野工場



(株)国徳工業



3つの事業をワンストップで展開

解体事業

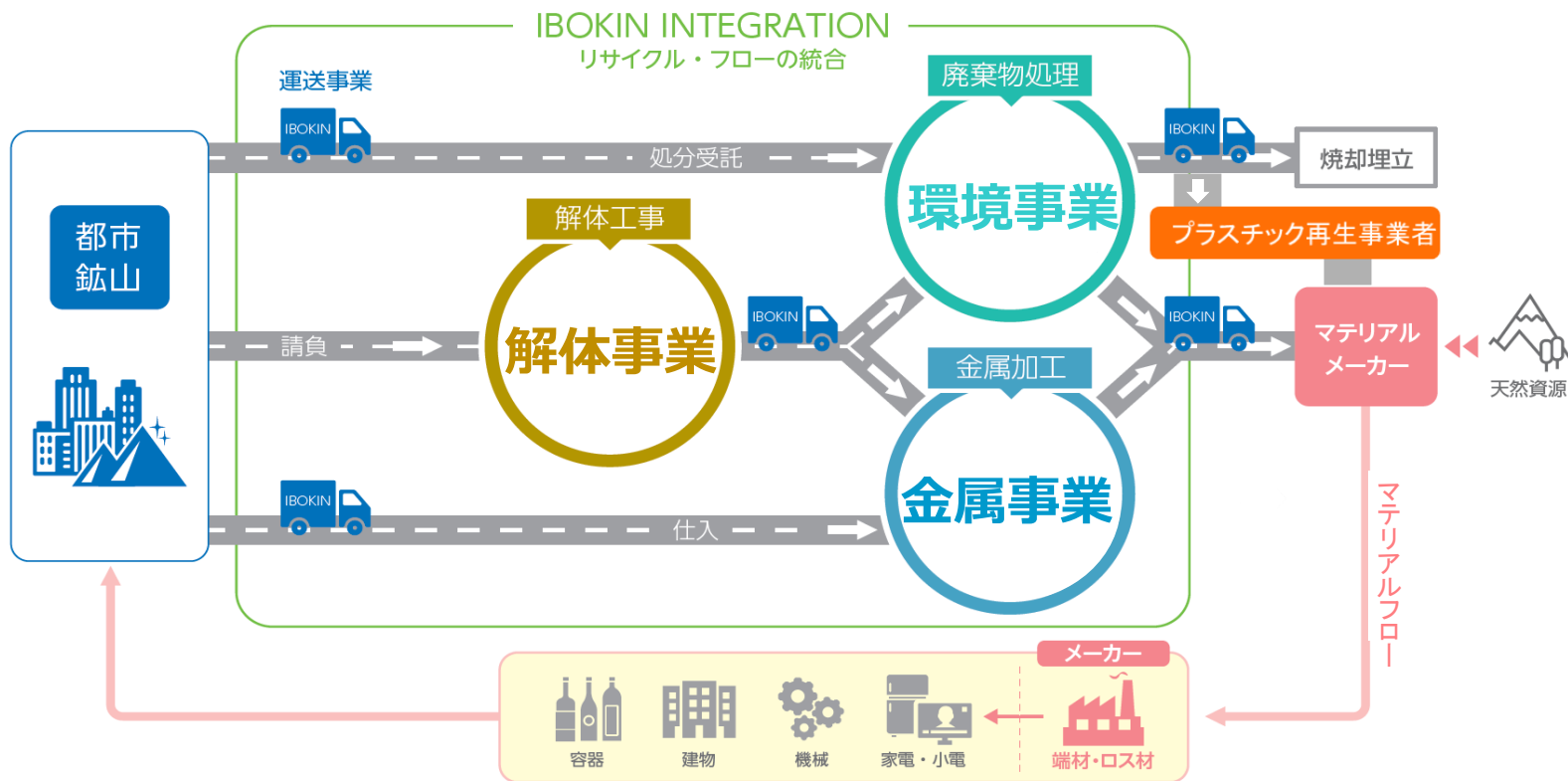
- ◆ 建築構造物やプラント・機械設備の解体・撤去工事

環境事業

- ◆ 木材・プラスチック等の分別・加工
- ◆ 再生資源の製造販売を含むリサイクル
- ◆ 産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分

金属事業

- ◆ 鉄・非鉄等の再生加工及び販売
- ◆ 使用済み自動車 (ELV:End of Life Vehicle) の解体による再生資源の販売



資源の一生に、夢と責任。



本資料における注意事項

本資料は投資家の参考に資するよう、弊社の現状を理解していただくために作成したものです。

本資料には、弊社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これら将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。

様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

投資を行う際には、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。